



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社

コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 相馬 信義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	33,957	△13.5	28	△90.8	△87	—	△29	—
23年3月期第1四半期	39,243	32.7	313	—	△20	—	252	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △573百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	△0.07	—
23年3月期第1四半期	0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第1四半期	191,990	—	47,042	—	23.6
23年3月期	196,234	—	47,622	—	23.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 45,401百万円 23年3月期 45,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成24年3月期の期末の配当につきましては未定であり、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定としております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	74,000	△9.2	800	206.6	100	—	0	—	0.00
通期	167,000	0.8	3,500	24.1	2,000	62.4	1,000	77.5	2.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月期決算を発表した平成23年5月12日の時点では、東日本大震災の影響により、合理的な業績予想の算定ができず未定としておりましたが、この度、最近の状況を踏まえ、業績予想を算定いたしました。詳細につきましては、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	404,455,680 株	23年3月期	404,455,680 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	306,654 株	23年3月期	306,088 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	404,149,164 株	23年3月期1Q	404,156,193 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～同年6月30日）の我が国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況でありました。今後は、サプライチェーンの回復も進み、景気の持ち直しが期待されていますが、電力供給能力の制約や円高の進行等、先行きに予断を許さない状況が続くと見込まれます。

このような経済状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、339億57百万円（対前年同期比52億85百万円減）、営業利益は28百万円（前年同期比2億84百万円減）となりました。売上高は産業機械部門、開発機械部門が対前年同期増収となりましたが、金属部門が大きく減収となりました。

産業機械部門の売上高は21億13百万円（対前年同期比3億84百万円増）で、主として鋼構造物製品が増収となりましたが、営業損失は1億64百万円（対前年同期比1億9百万円の損失減）となりました。開発機械部門の売上高は57億58百万円（対前年同期比7億37百万円増）で、主力の海外はアジア向けが引き続き堅調で、欧米向けも回復しつつあり、営業利益は25百万円（対前年同期は4億1百万円の損失）となりました。ユニック部門の売上高は26億82百万円（対前年同期比2億33百万円減）で、6月には回復基調となりましたが、4～5月の普通トラック登録台数が生産台数の減少により低調に推移したため減収となり、営業損失は29百万円（対前年同期比92百万円の損失減）となりました。産業機械・開発機械・ユニックの機械3部門合計の売上高は105億55百万円（対前年同期比8億88百万円増）、営業損失は1億68百万円（対前年同期比6億28百万円の損失減）となりました。金属部門の売上高は148億69百万円（対前年同期比49億83百万円減）で、震災のため主要委託製錬先の一つが6月末まで操業を休止したことによる電気銅の減収により、営業利益は1億54百万円（対前年同期比4億16百万円減）となりました。電子部門の売上高は12億55百万円（対前年同期比6億26百万円減）で、震災の影響により操業を休止していた、いわき工場は4月中旬に操業を再開しましたが、その後も余震による生産活動の阻害があって、営業利益は74百万円（対前年同期比2億92百万円減）となりました。化成部品部門の売上高は13億35百万円（対前年同期比85百万円増）、営業利益は65百万円（対前年同期比9百万円増）となりました。塗料部門の売上高は36億9百万円（対前年同期比1億30百万円減）で、震災の影響から減収となり、原材料価格の上昇もあって、営業損失は1億51百万円（対前年同期比1億39百万円の損失増）となりました。不動産部門の売上高は3億17百万円（対前年同期比1億36百万円減）、営業利益は1億18百万円（対前年同期比75百万円減）となりました。燃料部門の売上高は18億17百万円（対前年同期比3億82百万円減）、営業損失は10百万円（対前年同期比7百万円の損失減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常損失は87百万円（対前年同期比66百万円の損失増）となり、特別損失に災害による損失1億21百万円他を計上し、四半期純損失は29百万円（前年同期は2億52百万円の利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,919億90百万円で前連結会計年度末に比べ42億43百万円の減となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の減によるものであります。有利子負債（借入金）は898億38百万円で、前連結会計年度末に比べ、5億74百万円の増となりました。純資産は470億42百万円で前連結会計年度末に比べ5億80百万円の減となり、これは主として株価下落によるその他有価証券評価差額金の減によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月期決算を発表した平成23年5月12日の時点では、東日本大震災の影響により、合理的な業績予想の算定ができず未定としておりましたが、この度、最近の状況を踏まえ、業績予想を算定いたしました。

産業機械、開発機械、ユニック各部門では、順調な業績回復を見込んでおりますが、金属部門では、震災の影響及び円高の進行等により、平成23年3月期に比べ減収、減益となる見込みであります。なお、銅価格を通期で9,000米ドル/トン、為替を80円/米ドルと想定しました。

平成24年3月期通期の連結業績予想は、売上高1,670億円、営業利益35億円、経常利益20億円、当期純利益10億円といたしました。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,268	16,461
受取手形及び売掛金	25,197	21,286
有価証券	5	5
商品及び製品	11,217	13,867
仕掛品	5,182	7,020
原材料及び貯蔵品	13,262	11,122
その他	9,237	7,358
貸倒引当金	△172	△154
流動資産合計	80,199	76,968
固定資産		
有形固定資産		
土地	59,073	58,779
その他(純額)	26,584	26,728
有形固定資産合計	85,657	85,508
無形固定資産		
のれん	598	558
その他	238	232
無形固定資産合計	836	790
投資その他の資産		
投資有価証券	24,605	24,099
その他	6,759	6,409
貸倒引当金	△1,825	△1,785
投資その他の資産合計	29,540	28,723
固定資産合計	116,035	115,022
資産合計	196,234	191,990
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,652	21,312
短期借入金	30,010	34,751
未払法人税等	438	99
引当金	288	297
その他	16,066	14,253
流動負債合計	70,456	70,713
固定負債		
長期借入金	59,254	55,087
引当金	1,821	1,841
資産除去債務	191	192
その他	16,888	17,113
固定負債合計	78,156	74,234
負債合計	148,612	144,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	17,309	17,276
自己株式	△45	△45
株主資本合計	45,472	45,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293	△357
繰延ヘッジ損益	△109	△62
土地再評価差額金	3,288	3,292
為替換算調整勘定	△3,096	△2,910
その他の包括利益累計額合計	376	△37
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,720	1,588
純資産合計	47,622	47,042
負債純資産合計	196,234	191,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	39,243	33,957
売上原価	34,771	29,736
売上総利益	4,471	4,221
販売費及び一般管理費	4,158	4,192
営業利益	313	28
営業外収益		
受取配当金	248	196
その他	195	316
営業外収益合計	444	512
営業外費用		
支払利息	397	365
休鉱山管理費	153	146
その他	226	116
営業外費用合計	777	628
経常損失(△)	△20	△87
特別利益		
固定資産売却益	5	5
投資有価証券売却益	0	2
特別利益合計	5	8
特別損失		
固定資産除売却損	12	39
災害による損失	—	121
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109	—
その他	16	38
特別損失合計	138	199
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△278
法人税、住民税及び事業税	96	63
法人税等調整額	△483	△204
法人税等合計	△386	△140
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	232	△138
少数株主損失(△)	△19	△108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	252	△29

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	232	△138
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△985	△673
繰延ヘッジ損益	△416	41
為替換算調整勘定	△73	79
持分法適用会社に対する持分相当額	27	117
その他の包括利益合計	△1,448	△435
四半期包括利益	△1,215	△573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,141	△448
少数株主に係る四半期包括利益	△74	△125

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	1,729	5,021	2,916	19,852	1,882	1,249	3,740
セグメント間の 内部売上高又は振替高	384	5	15	126	26	202	5
計	2,114	5,026	2,931	19,979	1,908	1,452	3,745
セグメント利益又は損失 (△)	△274	△401	△122	570	366	55	△12

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	453	2,200	39,045	197	39,243	—	39,243
セグメント間の 内部売上高又は振替高	38	74	879	315	1,194	△1,194	—
計	492	2,274	39,925	513	40,438	△1,194	39,243
セグメント利益又は損失 (△)	194	△18	358	△36	322	△9	313

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	2,113	5,758	2,682	14,869	1,255	1,335	3,609
セグメント間の 内部売上高又は振替高	245	4	16	154	3	206	2
計	2,359	5,762	2,699	15,023	1,258	1,541	3,611
セグメント利益又は損失 (△)	△164	25	△29	154	74	65	△151

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	317	1,817	33,759	198	33,957	—	33,957
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	81	749	307	1,056	△1,056	—
計	351	1,899	34,508	505	35,014	△1,056	33,957
セグメント利益又は損失 (△)	118	△10	81	△30	51	△22	28

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。